

人のぬくもりと
ふれあいが奏でる躍動のまち
丹波高原文化の郷●京丹波

広報 京丹波

KYOTAMBA

No.83
9月号

2012年9月13日発行

朝日を浴びて 元気にラジオ体操





声を張り上げて「放水やめ」を伝える
梶本二番員（丹波支団）



谷山指揮者が火点に向け勢いよく放水（丹波支団）



出場を前に円陣を組んで気合を入れる操法要員（丹波支団）



優秀選手賞を受賞した鎌部指揮者が梅原団長に
操法開始を伝える（和知支団）



出場する要員に梅原団長が激励の言葉をかける（和知支団）



火点に向け放水する森二番員（和知支団）

京都府消防操法大会 丹波支団が 二位入賞



今月の表紙

8月23日に丹波自然運動公園で開催された夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会。会場には町内外から多くの方が参加し、早朝からラジオ体操に汗を流しました。（関連記事を4ページに掲載）

NO.83 CONTENTS

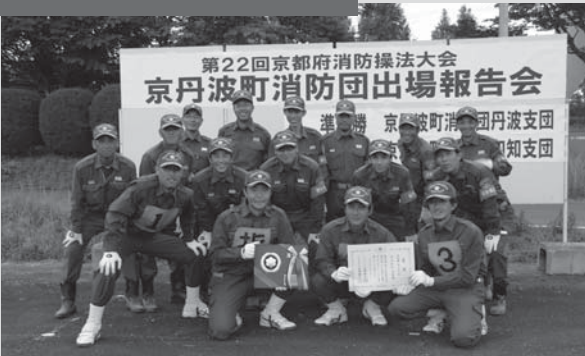
- 2 京都府消防操法大会
丹波支団が二位入賞
- 4 健康づくりの第一歩に
夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会開催
- 6 町内各地で夏祭り開催
- 9 緑あふれる新たな憩いの場
須知公園開園
- 10 高齢者が地域でいきいきと暮らすための窓口に
京丹波町介護よろず相談所を開設
- 11 Dr's Message いきいき健康術

12 FLASH KYOTAMBA TOWN NEWS 2012

- 早朝から取り組む地域美化
ーボランティア・ロード丹波
- 盲導犬を通して人権を考える
ー人権映画会
- 泥にまみれて地域交流
ー第六回泥んこソフトバレーボール大会
- 高校生がまちの将来像を討論
ー未来づくりディスカッション
- 今後の森づくりの指針を検討
ー森づくり基本計画策定委員会
- 豊かな森の恵みを学ぶ
ー親子ふれあい体験教室
- 全国大会で健闘
ー全日本中学生ホッケー選手権大会
- 真夏の夜間に太鼓の音色響く
ーばち供養2012
- スポーツと夏の味覚で交流
ーふくしまっ子応援・京・体験プロジェクト2012
- 長年の道路美化活動を表彰
ー「道路ふれあい月間」における国土交通大臣感謝状伝達授与式

16 シリーズ 季節の食材を使った お手軽料理レシピ

町民の皆さんに報告



入賞した丹波支団の要員と幹部団員

府消防操法大会終了後、丹波自然運動公園前の駐車場に会場を移し、出場報告会が開催されました。

会場には、操法大会に参加した各支団幹部などのほか、告知放送を聞いた多くの団員などが集まりました。

報告会では、今大会の結果が報告された後、各隊の指揮者があいさつし、丹波支団の谷山慶輔指揮者は「途中で要員が倒れることもありましたが、支えていただきました皆さんに感謝します。結果は準優勝でしたが、町の代表としての操法、全ての気持ちを背負った操法が披露できたと思っています。力になっていただきありがとうございました」と大会当日まで自分たちを支えてくださった方々にお礼を述べました。

は訓練の成果を発揮し、見事な操法を披露しました。

また、当日は連日の暑さも幾分落ち着いていたとはいえ、三十度を超える猛暑の中、会場には出場する操法要員の家族など多くの方が来場し、入賞を目指す操法要員を応援していました。

閉会式では、各部門の結果とともに、今回から新たに設けられた個人表彰が発表され、ポンプ車操法の部に出場した和知支団の指揮者鎌部泰春さんが優秀選手賞を受賞されました。

本町からの出場者

■小型ポンプ操法の部（丹波支団）

- 指揮者 谷山慶輔さん
- 一番員 谷山和光さん
- 二番員 梶本知幸さん
- 三番員 浅井浩平さん

■ポンプ車操法の部（和知支団）

- 指揮者 鎌部泰春さん
- 一番員 原田結城さん
- 二番員 森暁彦さん
- 三番員 江本貴繁さん
- 四番員 中尾弘さん



終了後のスタンプコーナーにはたくさん子どもたちが並んだ



味夢くんも元気にラジオ体操



健康づくりの第一歩に

夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会開催



イメージキャラクター
「ラジオ体操坊や」

夏休みの朝はラジオ体操。おそらく多くの方がそのようなイメージをもたれていることと思います。近頃は健康づくりに取り入れられる方も増えてきていますが、このラジオ体操をさらに全国に広げることを目的に行われた夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会の様子をお伝えします。



あいさつを述べる寺尾町長

体操会は八月二十三日、午前六時から丹波自然運動公園陸上競技場を会場に行われました。

当日は、同公園の午前五時の開門から参加者が次々に来場。体操会が始まる頃には、送迎バスで訪れた方をはじめ、町内や近隣市などから約千五百人が来場しました。

午前六時に開会が伝えられ、開催地である本町の寺尾豊爾町長が「夏休みに子どもからお年寄りまで、また女子も男子も関係なく参加できる取り組みがしたいと考えていました。大きな声でラジオ体操の歌を歌って自分のペースで楽しく体操してください」とあいさつを述べました。

主催者を代表して株式会社かんぼ生命保険京都支店石黒秀敏支店長などの



ラジオ体操の指導をされる西川さん

あいさつが行われた後、今回の体操の講師である西川佳克さんとピアノ伴奏者の幅しげみさんから体操会の全体の流れと体操の動作や歌の説明が行われました。

今回の体操会はNHKラジオ第1で生放送されるため、午前六時三十分番組が始まる音楽が流れると、会場内の参加者から大きな拍手が起きました。

聞きなれたラジオ体操第一の音楽が流れると、参加者らは西川さんの指導と幅さんのピアノ伴奏に合わせて、体全体を使って体操をしていました。

今回、送迎バスを使って孫と参加した西村恵美子さん(中台)は、「孫たちと何日も前からバスに乗って体操会に来るのを楽しみにしていました。職場や地域でラジオ体操をしています、これからも続けたい。」と話していました。

体操会終了後には、今回の体操会限定の「ラジオ体操坊や」のスタンプを押すコーナーが設けられ、子どもたちが「ラジオ体操カード」にいつもとは違うスタンプを押してもらっていました。



送迎バスで多くの人が来場

この取り組みは、株式会社かんぼ生命保険、NHK、NPO法人全国ラジオ体操連盟が毎年夏休みを利用して全国四十三の会場で行っているもので、今回本町での開催が京都府内では六年ぶりの開催となりました。

この巡回ラジオ体操は、日頃不足しがちな運動を生活習慣に取り入れ、「健康・体力の増進」を図るとともに、地域の人が士が体操を通して交流を図ることなどを目的として行われるものです。



感謝状を受け取る寺尾町長。右は小島部長(役場町長室・蒲生)

ご参加ありがとうございました

盛会に対し感謝状

8月30日、株式会社かんぼ生命京都支店業務部の小島孝男部長が、同社京都支店長からの感謝状贈呈のために京丹波町役場を訪れました。

寺尾町長は、ラジオ体操会が多くの方の参加で盛大に開催できたことに対する感謝の言葉とともに感謝状を受けました。



幅さんのピアノ伴奏が会場に響く



音楽に合わせて体操する参加者

町内各地で夏祭り開催

夏の暑さによる疲れを忘れさせてくれる夏の風物詩「夏祭り」。町内で行われた夏祭りには、今年も多くの人を訪れました。

各地域の夏の夜を盛り上げた夏祭りの様子をお伝えします。

二〇二二 京丹波夏まつり

京丹波の夏祭りの先頭を切って、二〇二二京丹波夏まつりが八月五日、須知区文化センター前などで開催されました。

まだまだ夏の日差しが差し込む午後四時頃から行われた七夕祭りでは、地元の方などによる願い事の書かれた短冊や、折り紙で作った金魚などをビニール袋に入れたものなどが飾り付けられた



ちようちんの明かりと七夕飾りが来場者を会場へと誘う

笹飾りが商店街の道路沿いに立てられ、訪れた人に夏祭りの始まりを知らせていました。

笹飾りに彩られた街道をメイン会場に進むと、周りを露店が賑わし雰囲気盛り上げる中、午後六時から飛び入りカラオケ大会が開催。参加者の中には子どもも含まれ、大人顔負けの歌声を披露すると、会場から大きな拍手が送られました。また、このカラオケ大会の合間には、町商工会女性部によるミュージックベルの演奏や京都丹波よさこい連の踊りも披露されました。

会場が盛大に盛り上がり、午後八時、須知川水辺公園周辺では約千二百発の花火が打ち上げられました。この花火を見ようと丹波マーカー周辺には多くの人が集まり、夜空に咲く大輪の花火に見入っていました。

花火も終わる午後九時頃からは、メイン会場の特設ステージにおいて、地元で活躍する歌手やテレビなどでもおなじみのお笑い芸人が登場。花火などで高ぶる会場をさらに盛り上げました。

このほか今回の夏まつりでは、会場付近の国道九号沿いの歩道でイルミネーション・プチアート展が開催。来場者たちは暗闇の中に光るイルミネーションに見入っていました。

二〇二二 わちふるさと祭り

京丹波の夏も終盤となった八月二十五日、JR和知駅前広場および和知ふれあいセンター前駐車場などで二〇二二わちふるさと祭りが開催されました。

会場では、午後二時五十分、和知太鼓保存会のメンバーなどによる呼び込み太鼓が鳴り響き、祭りの始まりを地域に知らせました。

ふれあいセンター前駐車場に設けられたステージ付近では、和知小学校太鼓クラブの演奏や和知中学校コーラス部の発表が行われたほか、地域住民で作るグループによる大正琴やフラダンスの発表、伝統芸能の小畑万歳や和知太鼓の演奏が行われました。

日も落ち、露店の明かりやステージ照明



大人も子どもも仮装した人も踊る和知文七大踊り

などが会場を照らす午後六時過ぎからは、ふるさとまつりでは恒例となったよしとお笑いライブと京野菜の歌を歌う歌手奥野ひかるさんの歌謡ショーが行われました。

奥野さんは、京野菜の歌のほか、昨年東日本大震災が発生した東北地方を訪れ、地元の方から聞いた話などを元に作った新曲「がんばつ節」などを披露。会場内は大いに盛り上がりました。

その後、テレビなどでも馴染みのある「ウーマンラッシュアワー」「矢野・兵動」などがステージに登場し、会場を沸かせました。

午後八時過ぎからは、会場をJR和知駅前広場に移し、和知文七大踊り大会が行われました。広場の中央にあるやぐらを中心に、和知文七踊り保存会の山内勝次さんら五人による音頭に合わせて、多くの人が踊りに参加しました。この大踊りには、今回募集した三つの仮装グループも参加。桃太郎などに扮したメンバーが踊りの輪に交じりました。

会場を沸かす矢野・兵動。ステージ前には多くの人が集まった



会場には地域住民など多くの人々が来場



商工会女性部の皆さんによるミュージックベルの音色が会場に響く

多くの来場者が見上げる中、大輪の打ち上げ花火が上げられる

第五回 みずほ夕涼み大会

八月十二日、町瑞穂支所周辺で第五回みずほ夕涼み大会が開催されました。

会場では午後五時頃から、地元住民や商工会青年部などによる露店が開店。焼きそばやフランクフルトなどの定番のメニューのほか、そうめんなども販売され、訪れた人たちが列を作つて買い求めています。

会場中央では、町商工会女性部による「フラダンス」や、町外から招待したグループによる西アフリカのパーカッションとダンスのパフォーマンスなどが行われ、来場



瑞穂鼓太鼓のメンバーと子どもたちによる太鼓の演奏

者が増え始めた会場を盛り上げました。会場が人で満ちた午後七時三十分からは恒例となった「瑞穂そば一本つる大会」を開催。大会用に特注した一本三メートルもある特産の瑞穂そばを参加者は必死にすすり、食べ終えた人には見守る来場者から大きな拍手が送られました。

このほかにも、五人の子どもたちが当日まで行われた子どもワークショップで一生懸命練習してきた太鼓を披露。瑞穂鼓太鼓のメンバーによる演奏も行われ、会場周辺に太鼓の音色が響き渡りました。

会場の雰囲気も最高潮となった午後九時からは、会場中央に設けられたやぐらを中心に瑞穂音頭が開始。町女性の会瑞穂支部の瑞穂音頭継承部会を中心に、多くの来場者が参加して輪を作り、夏祭りの雰囲気を楽しんでいました。

緑あふれる新たな憩いの場

須知公園開園



町長と来賓による記念植樹



エコ風船が子どもたちの手から大空を舞う

須知公園の概要

所在地	京丹波町須知地内
面積	27945.68㎡
種別	都市公園法に基づく近隣公園
主な施設	複合遊具施設(木製)1ヶ所
	休憩所(木造)2ヶ所
	トイレ1ヶ所
駐車場	広場1ヶ所
	21台

このたび須知川水辺公園に続く町内二箇所目の都市公園として、須知公園が開園。七月三十一日には同公園内で開園式が開催されました。

須知公園は、平成十四年に旧丹波町が「丹波の植生の再現と山の美り」をテーマに事業計画を策定。平成十七年の合併を挟み、用地取得、造成などを進めて今回の開園となりました。

開園式には、町、議会、京都府、区長会のほか、今回の公園の整備に際して用地を提供された方など約三十人が参加。式では、寺尾豊爾町長が「町外に向けての新しい『顔』として、先導的な役割を發揮するものと考えています。自然環境を最大限活用したこの公園を積極的に活用してください」と緑あふれる須知公園が多くの町民に活用されることを願い式辞を述べました。

また公園内では、今回の開園を記念して寺尾町長ほか五人の来賓がサクラの苗木を植樹。植えられた苗木のそばでは、上豊田保育所の五歳児二十八人が、太陽の光で自然に分解する「エコ風船」を飛ばし、須知公園の開園を祝いました。



町内各地で夏祭り開催

子どもたちの力を結集

子どもベンチャー・スクール



販売するエコバッグに絵を描く子どもたち



子どもベンチャースクールに参加した子どもたち



中谷さんが価格決定の方法などを説明



大勢の人が来店し商品を購入

この夏開催された夏祭りでは、どれも地域の力が結集されての開催でしたが、その中には大人たちだけでなく、子どもたちもさまざまな形で参加しました。

今回はその中でも、みずほ夕涼み大会の中で行われた子どもベンチャースクール事業を紹介します。

この取り組みは昨年からはまったもので、夏祭りの機会を活用し、地元小学生がベンチャー企業経営の疑似体験を行うもの。初日となった八月一日、町商工会瑞穂支所の二階には、今回の取り組みに参加した瑞穂小学校の生徒十二人が集まりました。

子どもたちは六人ずつ二つの会社を作り、それぞれ「社長」や「営業部長」などの役職を決め、八月十一日の販売に向けての取り組みを始めました。

この日は、京都北都信用金庫瑞穂支店の相根一郎支店長が講師として参加。相根支店長は「会社を立ち上げるといことは大人の仲間入りをしたということ。自覚を持って取り組んでください」と子どもたちに語りかけていました。

子どもたちは、この後当日までに町商工会瑞穂支所の経営支援員である中谷太さんなどのサポートを受け、お金の借り入れ、販売する商品づくりなどに取り組みました。

夕涼み大会当日は、二つの会社でそれぞれ作ってきた二種類ずつの商品を、どうすれば買ってもらえるかを考え、エコバッグを売る会社では、テントの屋根から商品をひもで吊るして目をひきやすくするなど工夫して陳列しました。

イベントが始まると、会場内の人は増えてきましたが、販売当初はなかなか売れない時間もあり、子どもたちは会場内を回り来店を促したり、店頭を通る人たちに大きな声で呼びかけたりと頑張った結果、徐々に来店者も増えて、午後七時頃には完売することができました。

八月十六日の最終日には、売り上げから当初に借り入れたお金を返済し、社員(子どもたち)への給料を支払った後、残ったお金は福島県双葉町への支援金となりました。

今回の取り組みは、子どもたちにとってお金の流れを知るとともに、販売までの流れを経験する良い機会になりました。



Dr.'s Message

いきいき健康術 第61回

高齢者が地域でいきいきと暮らすための窓口として 京丹波町 介護よろず相談所 開設

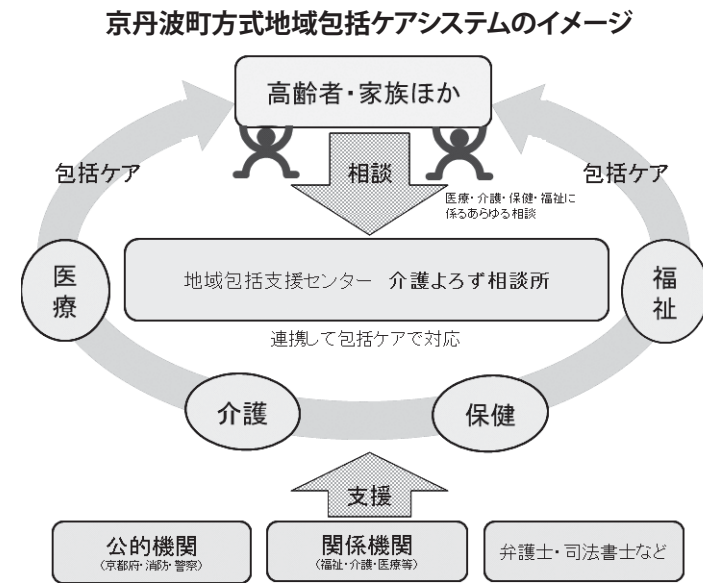
このたび、地域にお住まいの高齢者が元気でいきいきと自立した生活を送る支援を行うため、「京丹波町介護よろず相談所」を町内で介護保険サービスを提供する11ヶ所に開設しました。地域包括ケアを進める本町で、気軽に相談できる窓口となる相談所の概要をお伝えします。



相談所の看板を掲出する寺尾町長と山下事務局長（クローバー・サービス事務所前・橋爪）

介護よろず相談所とは？

今回開設した相談所は、「京丹波町高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画」に基づき本町が進めている、京丹波町方式の地域包括ケアシステムの構築と充実に向けた取り組みの一つで、介護サービスを利用される住民の皆さんに対する相談窓口となるものです。在宅生活を送るうえでケアマネジャーを決めていないことから介護サービスの利用などでお悩みの方、初めて介護をすることとなって、対応の仕方がわからず誰かに話を聞いてほしい方など、介護に関するどんなことでもご相談ください。相談を受けた事業所で対応が困難な場合は、包括支援センターを中心としたネットワークを活用し対応していきます。



介護よろず相談所開設場所

事業所名	住所	電話番号
社会福祉協議会丹波支所	須知	82-0126 (月～金の8:30～17:15のみ／祝日は除く)
社会福祉協議会瑞穂支所	和田	86-1440 (月～金の8:30～17:15のみ／祝日は除く)
社会福祉協議会和知支所	本庄	84-1833 (月～金の8:30～17:15のみ／祝日は除く)
丹波笠次病院	須知	82-1145
デイサービス ひだまり	富田	82-2205
丹波高原荘	実勢	82-2101
クローバー・サービス	橋爪	88-5014 (月～金、8:30～18:00／祝日は除く) 090-2282-6052 (上記以外)
瑞穂山彦苑	三ノ宮	88-0150
長老苑	市場	84-1748
ラポールささゆりの宿	本庄	84-1230
まごころサービスあい・愛	角	84-9333

対象となる人は？

町内に住民票があるおおよそ六十五歳以上の要援護高齢者やその家族の方であれば、どなたでも相談できます。

利用料は？

相談に関する利用料は無料です（ただし、相談内容の解決に向けた取り組みなどの中で特に要した経費がある場合は、実費相当額が必要となります）。

『肺炎について』

このコーナーは、町立病院・診療所の医師や専門職員が皆さんにお届けする健康情報コーナーです。今回の担当は京丹波町病院内科医長の横井大祐先生。肺炎の原因や症状、予防法などのお話です。

肺

肺炎は高齢になるに従ってかかりやすくなり、全死因の三位、高齢者に限ると第一位となっています。当院でも多くの方が肺炎で入院されています。肺炎になつてしまうと寝込みがちになり、特に高齢者の場合、食事をする力や歩く力が減少してしまい、再びそれらの力を取り戻すことが難しい場合もあります。肺炎の症状は、発熱、咳、痰の増加などが主ですが、高齢者の場合は典型的な症状に乏しい場合もあり、食欲がない、元気がないといった症状である場合もありますので、様子がおかしい場合は医療機関で診察、検査を受けた方がよいでしょう。

肺炎は本来細菌がない肺の中で病原菌が増殖することです。肺炎の原因となる細菌は主に肺炎球菌、インフルエンザ桿菌（インフルエンザウイルスとは関係ありません）、肺炎桿菌などがあり、その半数を肺炎球菌が占めています。細菌はかぜなどで一時的に弱った、鼻やのどにある免疫機構（扁桃など）を通過して入ってきます。高齢の方や、脳卒中などで喉の機能の低下がみられる方は、寝ている間に喉を通り抜けた唾液が肺に入ることによって肺炎になることもあります。

その成り立ちから、肺炎の予防法はまず、①十分な休息、栄養、水分摂取などにより免疫機能を保つこと。②特にかぜなどの体調不良の時に無理をしないこと。③高齢の方や肺疾患のある方、喉の機能の低下がみら



内科医長 横井 大祐先生
(京丹波町病院)

れる方は、口の中をきれいにして唾液内の細菌を減らしておくことも大切です。

また、原因の多くを占める肺炎球菌に対しては予防接種があります。日本ではまだあまり普及していませんが、肺炎の発症や重症化の予防に効果があるといわれています。インフルエンザワクチンとの組み合わせも効果が高いといわれています。一度接種すれば約五年は有効なので、肺炎の危険性が高そうな方は一度医療機関で相談されてもよいと思います。

京丹波町病院情報

京丹波町病院では、毎月の第二・第四土曜日の午前中に内科と小児科の診療を行っています。

☎ 86-02220

早朝から取り組む地域美化

■ボランティア・ロード丹波

本年度二回目のボランティア・ロード丹波が七月二十九日、丹波自然運動公園から京都銀行須知支店前の須知交差点までの国道九号沿いで行われました。

この取り組みは、毎年三回、町の京都方面からの玄関口である国道九号の清掃活動を実施。道路環境の美化と地域の人たちが共に作業することによるつながりを深めることを目的に地域住民が主体となり、町および道路管理者である国土交通省が協力して実施しています。

今回は、夏季の実施であることから、開始時間を繰り上げたにもかかわらず、町内から約百人が参加。寺尾豊爾町長が「暑いので健康管理に留意し、事故にあわないよ



植樹帯の草を引く参加者(国道九号沿い・蒲生)

う注意しながら作業してください」とあいさつを述べた後、作業を開始しました。

参加者は強い日差しが照りつける中、一緒に参加した知り合いなどと話をしながら草引きなどに汗を流しました。

次回は十月二十八日に実施されますので、皆さんのご参加をお願いします。

泥にまみれて地域交流

■第六回泥んこソフトバレーボール大会

七月二十九日、三ノ宮地内のほ場で第六回泥んこソフトバレーボール大会が開催されました。

この大会は、総合型地域スポーツクラブ「三ノ宮さんさんクラブ」(西村明男代表)と三ノ宮地域振

興会(小山満会長)が、地域の活性化とつながりを深めることを目的に行っているもの。今回は町内の地区や職場などで結成した十二チームが参加しました。

会場となったほ場には、二つのコートが作られ、参加者の中には、看護師や人気アイドルグループの

コスチュームを身にまとったチームもあり、泥だらけになりながらボールを追いかけっていました。

また、ゲームが終わった参加者はそばを流れる川に入り、衣服についた泥を洗い流しながら水をかけあうなど、真夏の暑さの中でひとときの涼を楽しんでいました。



泥まみれになりながらプレーする参加者(三ノ宮)

高校生が町の将来像を討論

■未来づくりディスカッション

今年で四回目の開催となる未来づくりディスカッションが七月二十九日、丹波マーケスコミュニティホールで開催されました。

これは社団法人船井青年会議所(小寺良秀理事長)が、活動エリアとする南丹市と京丹波町に住む青少年を対象に、同世代の仲間たちとともに自分たちのまちの未来について話し合うことを目的に開催しているもの。今回は須知高等



まちづくりについて考える寺尾町長

学校の生徒六人が寺尾豊爾町長とともに、京丹波町の将来像について語り合いました。

高校生らは、このディスカッションの前に二度の事前勉強会を行い、高齢化が進む町の現状などを学んで参加しました。

話し合いでは、十年後の自分の将来像やそのときの町に住んでいるかなど、いくつかのテーマについて意見を出し合い、「十年後は自分のしたい仕事をするために多分町内には住んでいないと思う。しかし、将来的には自分たちが生まれた町に帰ってきたい。」など、本町に対する愛着を見せていました。今後の町づくりについて問われると、ある生徒は「中途半端に都会になるよりも、とことん田舎であるほうが、都会などにアピールしていけないか」など、高校生の視点で見た本町の将来に対する考えを述べていました。



意見を述べる須知高校生(丹波マーケスコ・須知)

盲導犬を通して人権を考える

■人権映画会

町民の人権を考える機会として八月四日、山村開発センターみずほで人権映画会が開催されました。

この映画会は、八月が人権強調月間であることから、人権意識の啓発活動として町人権啓発推進協議会(太田明平会長)、町および町教育委員会が開催したもので、町内から約二百人が来場。盲導犬の訓練士や不慮の事故により失明した女性が、盲導犬とのかわりを通して「愛すること」「生きること」の大切さを知る映画「パートナーズ」を上映しました。

映画上映後には、公益財団法人関西盲導犬協会の久保ますみさんによる盲導犬のデモンストレーションが行われ、久保さんは「盲導

犬」ではなく、「盲導犬」を連れた人と認識していただき、困っているときは声をかけてあげてください」と参加者に話しかけていました。



ステージを降りデモンストレーションする久保さん(山村開発センターみずほ・大朴)

今後の森づくりの指針を検討

■第二回森づくり基本計画策定委員会

八月六日、京丹波町役場議場で第二回森づくり基本計画策定委員会が行われました。

この委員会は、本町の今後の林業振興と森林資源の活用などの道筋を示す「森づくり基本計画」を策定するために設置したもので、十二人の委員で構成されています。



寺尾町長が松村委員に委嘱状を交付

会議では、寺尾豊爾町長から町議会代表の松村篤郎産業建設常任委員会副委員長を含む町内の林業関係団体や消費者団体の代表など十二人に委嘱状を交付。同委員会の委員長には前府議会議員で京都府立林業大学校地域連携協議会の会長である上田秀男さん(曾根)が選出されました。上田委員長は「本町において森づくりは喫緊の課題。この委員会は重要なものなので皆さんの熱い思いを語っていただき、次代に引き継げる森づくりにつなげたい。」とあいさつを述べました。

委員会では、町内の林業の状況などの説明を受けました。

今後、アンケートや林業関係者にヒアリングを行い、平成二十五年三月の策定を目指します。



説明に聞き入る委員(役場議場・蒲生)

豊 かな森の恵みを学ぶ

■親子ふれあい体験教室

八月十一日、親子ふれあい体験教室「京都府立林業大学の先生と森を学ぼう」が開催されました。

この教室は、町青少年育成協会が今回初めて開催したもので、本年四月に開校した府立林業大学の先生の講師に迎え、林道沿いの野草の散策や、森林の管理作業の見学、木を使ったクラフトなどを行いました。

森林の管理作業現場までの道のりで行われた野草の散策では、林業大学の川辺先生が林道沿いの野草をとり「これはマツカゼソウといい、かんきつ系のおいがします。野草はおいなど覚えてると忘れにくいです」と説明しながら子どもたちに野草を手渡すと、子ども



川辺先生から野草の説明を受ける親子ら(西河内地内の山林)
 たちは興味津々な様子でおいを嗅いでいました。

参加者らは、京丹波森林組合による森林の管理作業を見学後、ウツディパルわちへ移動。飯ごうで炊いたご飯と鹿肉を使ったカレーライスを食べ、午後は小枝を人に見立てて目や口などを彫ったりして作る「小枝のモックン」作りに挑戦しました。

全 国大会で健闘

■全日本中学生ホッケー選手権大会

八月十七日から二十日まで、日光市ホッケー場(栃木県)などで全日本中学生ホッケー選手権大会が開催。瑞穂中学校女子ホッケー部が出場しました。

この大会は、国内の十ブロックを勝ちあがった男女各二十四チームが参加して行われたもので、同校ホッケー部は近畿中学校総合体育大会(近畿ブロック予選)で準優勝しての参加となりました。

予選リーグでは、川口中(岩手県)、大原中(千葉県)と対戦。どちらも0-0と引き分け予選リーグを二位で通過しました。

決勝トーナメント一回戦は地元栃木県の今市中と対戦。開始早々



決勝トーナメント一回戦で開始早々にゴールを決めて喜ぶ瑞穂中ホッケー部員(栃木県日光市)

にゴールを決めるなど強豪相手に善戦しましたが、二-二と引き分け、ペナルティストローク戦の結果、二-三で惜しくも敗れ、ベスト八進出はなりませんでした。

真 夏の夜空に太鼓の音色響く

■ばち供養

和知太鼓保存会によるばち供養が八月十一日、道の駅「和」で行われました。

ばち供養とは、稽古などで傷んだばちを焼納して供養するもので、神事に続いて保存会のメンバーが

使ってきたばちの山に、火が入れられました。

ばちの焼納式に続いて行われた和太鼓ライブでは、和知太鼓保存会と和知地域で太鼓を習っている小・中学生や、今回友情出演として福知山市の和太鼓ユニット「ひとつ」のメンバー三人も参加。太鼓の

音色が響く会場では、参加した小・中学生の家族や道の駅に休憩に立ち寄った人などが勇壮な太鼓の演奏に聞き入っていました。

また、ライブの最後には参加者全員が交代で太鼓をたたき、ばち供養のフィナーレを飾りました。



参加者らが交代で太鼓をたたく(道の駅「和」・坂原)

スポーツと夏の味覚で交流

■ふくしまっ子応援・京・体験プロジェクト二〇一二

福島県内の中学生と町内二中学校の生徒の交流会が八月八日、グリーンランドみずほで行われました。

これは府教育委員会が実施する「ふくしまっ子応援・京・体験プロジェクト二〇一二(子どもたちの心の復興支援事業)」の一環として行われたもので、福島県相馬市や新地町などから京都府へ来ている

中学生三十六人と、蒲生野中学校および瑞穂中学校の生徒二十四人が参加しました。

文化研修センターあかまつで行われた開会式では、町内から参加した中学生を代表して蒲生野中学校生徒会長の東達朗さんが「みんなでいろいろなことを話し、楽しみましょう」とあいさつした後、グラウンド・ゴルフ場へ移動。十班にわかれてグラウンド・ゴルフを楽しみました。

生徒らは、ホールが進むにつれ徐々に打ち解けあい、終了する頃にはあちこちから大きな笑い声が聞こえていました。

グラウンド・ゴルフを終えた生徒らは隣接する森林浴レストランで、町内で収穫したスイカをおいしそうに頬張っていました。

参加した生徒らは「初めて会う人ばかりだったけど、グラウンド・ゴルフなどで仲良くなれてよかった」と感想を述べていました。



グラウンド・ゴルフを楽しむ生徒ら(グリーンランドみずほ・大朴)

長 年の道路美化活動を表彰

■「道路ふれあい月間」における国土交通大臣感謝状伝達授与式

八月の「道路ふれあい月間」に関連して、町内の安栖里老人クラブと鎌谷下区に国土交通大臣から感謝状が贈呈されることとなり、八月二十一日に京都府公館で伝達授与式が行われました。

今回の感謝状は、道路交通の安全、道路の正しい利用、道路愛護などに功績のあった団体や個人に対して贈られるもので、両団体とも長年にわたり、それぞれの地区内の国道や府道の除草活動や花苗の

植え付けなどに尽力されてきたことが評価されての受賞となりました。

式には、安栖里老人クラブの十倉眞照会長と鎌谷下区長の井田康治さんが出席。伊勢田敏府建設交通部長から感謝状が伝達されました。



受賞された十倉さん(左)と井田さん(右)。中央は伊勢田道路交通部長(京都府公館・京都市)

わたしたちの町

人 口
16,308(-12)
男
7,700(-12)
女
8,608(±0)
世帯数
6,463(-2)
9月1日現在/()は前月比

義援金などの受付状況

東日本大震災への支援として取り組んでいる「義援金」と、友好町・福島県双葉町への「復興支援募金」の受付状況をお知らせします。

受付金額	
義援金	8,829,852円
復興支援募金	5,172,662円

*平成24年8月31日現在



【シリーズ】 第14回

食卓の一品に
どうぞ!!

季節の食材を使った お手軽料理レシピ

このコーナーでは、「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに掲げ、食生活を通じた健康づくりに取り組んでいる食生活改善推進員協議会の皆さんに、季節の食材を使って簡単に調理できる料理を紹介していただきます。

今回は、カルシウムや鉄分たっぷりの「枝豆」を、鶏肉などとともに焼き上げた「枝豆つくね」。夏バテの原因である食欲不振からくる栄養不足の解消に、おすすめの一品です。

今回の
料理

枝豆つくね

POINT!

☆枝豆は柔らかめに茹でてください。
☆お好みで七味唐辛子を混ぜたり、大葉を巻くと、またひと味違います。

■作り方

- ①ボウルに鶏ひき肉、枝豆、豆腐、卵、片栗粉、みじん切りにした土生姜、コショウ、ごま油を入れ、よく混ぜ合わせる。
- ②手を水で湿らせてから①のタネを小判型に丸め、軽く小麦粉を振る。
- ③フライパンにサラダ油を入れて熱し、②を焼く。（初めは強火で焼き、焼き色がついたなら中火にする。）
- ④裏返して、両面に良い焼き色がついたなら、ペーパーで余分な油をふき取る。
- ⑤フライパンの空いている所に酒、みりん、しょうゆを入れ、水溶き片栗粉を流し込んでとろみをつけてから、つくねにからませる。



【材料(4人分)】

- ◆鶏ひき肉(もも) ……320g
- ◆枝豆 ……1/2カップ
(塩茹でしてさやから出したもの)
- ◆木綿豆腐 ……100g
- ◆卵 ……1個
- ◆土生姜…みじん切りを30g

＜調味料＞

タネの下味用

- ◇片栗粉 ……大さじ1
- ◇コショウ ……少々
- ◇ごま油 ……小さじ1
- ◇小麦粉・サラダ油 ……適宜

仕上げのタレ

- ◇酒 ……大さじ1
- ◇みりん ……大さじ2
- ◇しょうゆ ……大さじ2
- ◇水溶き片栗粉 ……少々

■栄養価(1人分)

エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	食物繊維	塩分
238kcal	22.2g	10.8g	59mg	0.8g	1.6g

〈次回は12月号に掲載する予定です〉

八月五日に開催された府消防操法大会。結果は、和知支団に関しては残念ながら入賞ができませんでした。が、どちらの隊も本当に素晴らしい操法を披露されたと思います。操法要員の皆さんを始め、消防団の皆さんやご家族の皆さん、本当にお疲れ様でした。

今年の夏は、本当に暑く雨の降らない日々が続き、降ったと思えば宇治市で起こった災害のように、一度に大量に降ります。これから、台風の季節になり、ますます天気予報が気になる時期に入ります。いつ何時くるか分からない災害ですが、皆さん十分な備えをしていただき、安心してこの季節を過ごしていただければと思います。思っているよりもなかなか取り組めない万が一の備えですが、編集子も小さなことからでもまずはやってみようと思っています。(T)

編集後記

京丹波町のシンボル

【町の鳥】
うぐいす



【町の木】
イチヨウ



【町の花】
つつじ

